



# BRM研修

Bridge Resource Management  
ブリッジ・リソース・マネージメント

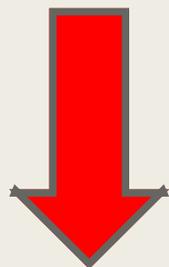


# BRMへの取り組み

幸洋汽船では安全航行のためBRM研修を導入しています。

社外で研修することによって、社会的な観点からしっかりと考えられる人材を育成しています。

船舶の安全運航のために  
船橋内のシステム管理方法を見直し、  
実践に即して考えていく必要がある

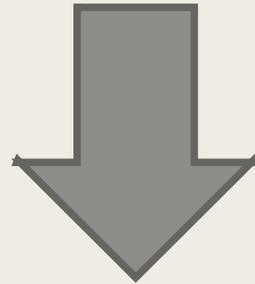


**BRM (ブリッジ・リソース・マネジメント)**  
**という考え方が必要**

- 情報共有
- 判断と決断
- 作業の明確化
- リーダーシップ

# BRMの考え方

- ① 人間は必ずミスをするものである
- ② 人間一人の能力には限界がある



だからこそ...

ミスのエラーチェーンの連鎖を  
チームで断ち切り、事故を防止する

前提として

人間はミスを犯すもの  
人間一人の能力には限界がある

## 情報共有

話やすい雰囲気醸成  
双方向の会話の実施

## 作業の明確化

職務への取り組み姿勢  
責任分担の明確化  
基準の遵守

## 判断と実行

状況の認識  
優先順位の確立  
潜在圧力に注意

## リーダーシップ

問題解決へのリーダーシップ  
平常時と緊急時のリーダーシップ

安全は技術を超えた社会の価値観で  
技術といった次元よりも  
もっと上の次元にあるもの

## 個人管理

(適切な判断能力の維持)

- ・健康管理
- ・精神管理
- ・性格管理

## チーム管理

(チーム機能の活用)

- ・乗組員
- ・他船、タグ
- ・管制センター

ミスを犯す



事故の要因発生

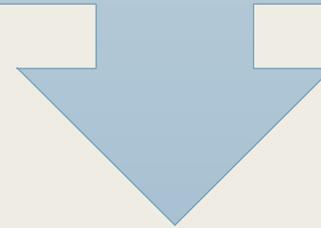


エラー連鎖発生



事故発生

本当に考えるべきことは  
社会のためにも事故が起きないような  
予防型の安全策



良好なコミュニケーション

適切なチームワーク